

2024年度 事業報告書

学校法人 敬道学園

I. 法人の概要

学校法人敬道学園

代表者：理事長 牧野 健介

所在地：愛知県名古屋市中村区黄金通1-16

設立：1967年4月1日

1. 沿革（2025年3月31日現在）

- 1967年 日本デザイナー学院・日本写真専門学院名古屋校創立
学院長に山名文夫就任
- 1979年 専門学校設置認可に伴い、日本デザイナー学院名古屋校写真科に改称
校長に狭間寿郎就任
- 1981年 校長に横田真利就任
- 1984年 校長に岡本滋夫就任
- 1987年 名古屋校創立20周年記念「高校生デザイン・写真コンペティション」開催
- 1990年 パリ海外研修旅行始まる
- 1991年 名古屋市中村区黄金通に新校舎完成移転
校長に中井幸一就任
- 1997年 名古屋校創立30周年を迎えOB30展開催 マンガコース設置
- 1998年 日本デザイナー芸術学院に校名変更
コミュニケーションアート学科設置
校長に竹内克郎就任
- 1999年 写真科OB35展開催
- 2000年 OB展2000「DIGITALWORLD」開催
- 2002年 創立35周年記念イベント開催
中国国立四川大学芸術学部と姉妹提携
- 2003年 世界グラフィックデザイン会議に出展
- 2007年 校長に田辺雅一就任
創立40周年記念「OB40展」開催
- 2010年 日本マンガ芸術学院開校
(マンガ分野と声優タレント分野に特化した日本デザイナー芸術学院の
グループ校として創設)
校長に成光雄就任
- 2011年 日本デザイナー芸術学院校長に本山星求就任
- 2014年 日本デザイナー芸術学院校長に成光雄就任
- 2015年 学校法人名を敬道学園と改称
- 2018年 日本デザイナー芸術学院、日本マンガ芸術学院に3年制コースを新設
- 2020年 日本デザイナー芸術学院にこども芸術学科(3年制)設置
- 2024年 日本デザイナー芸術学院にこども学科(2年制)設置

2. 設置学校・学科・コース

専門学校日本デザイナー芸術学院 専門課程昼間部 修業年限2年/3年

【設置学科・コース】

ビジュアルデザイン学科 募集定員(115名) 文化教養分野

グラフィックデザインコース	2年 / 3年
キャラクターデザインコース	2年/3年
イラストデザインコース	3年
アートデザインコース	3年
動画クリエイターコース	3年

こども芸術学科 募集定員(20名) 教育社会福祉分野

保育・幼稚園コース	3年
-----------	----

こども学科 募集定員(20名) 教育社会福祉分野

保育コース	2年
-------	----

専門学校日本マンガ芸術学院 専門課程昼間部 修業年限2年/3年

【設置学科・コース】

メディアアート学科 募集定員(105名)

マンガコース	2年 / 3年
コミックイラストコース	2年 / 3年
小説クリエイトコース	2年 / 3年
声優タレントコース	3年

2. 設置学校の在籍学生数の状況

各設置学校の2024年5月1日現在の学生数

学 校 名	新入生	進級生	合計
専門学校日本デザイナー芸術学院	106	164	270
専門学校日本マンガ芸術学院	107	60	167

3. 教職員・役員の状況

教職員 80名

役員	理事	牧野 健介	学校法人敬道学園 （常勤・理事長）
		成 光雄	学校法人敬道学園 （常勤・校長）
		宮武 一行	学校法人恭敬学園 （非常勤・外部理事）
		田中 智	株式会社日本教育工房（非常勤・外部理事）
		杉本 良行	学校法人恭敬学園 （非常勤・外部理事）
	監事	鈴木 康弘	株式会社日本教育工房取締役
		大川 高志	株式会社ラバーセンス代表取締役

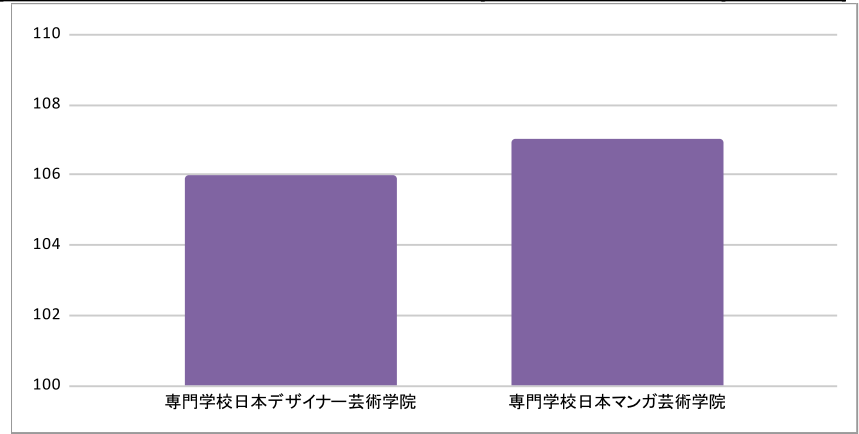
Ⅱ. 2024年度事業の概要

1. 募集活動について

2024年4月入学者は、合計213名

(専門学校 日本デザイナー芸術学院:106名 専門学校 日本マンガ芸術学院:107名)

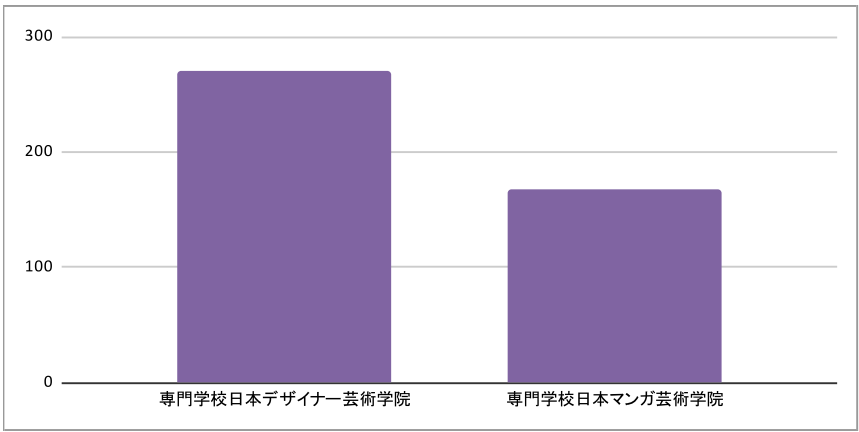
敬道学園・新入学者数		合計
専門学校日本デザイナー芸術学院	106	213
専門学校日本マンガ芸術学院	107	



2024年4月在籍者数は、合計437名

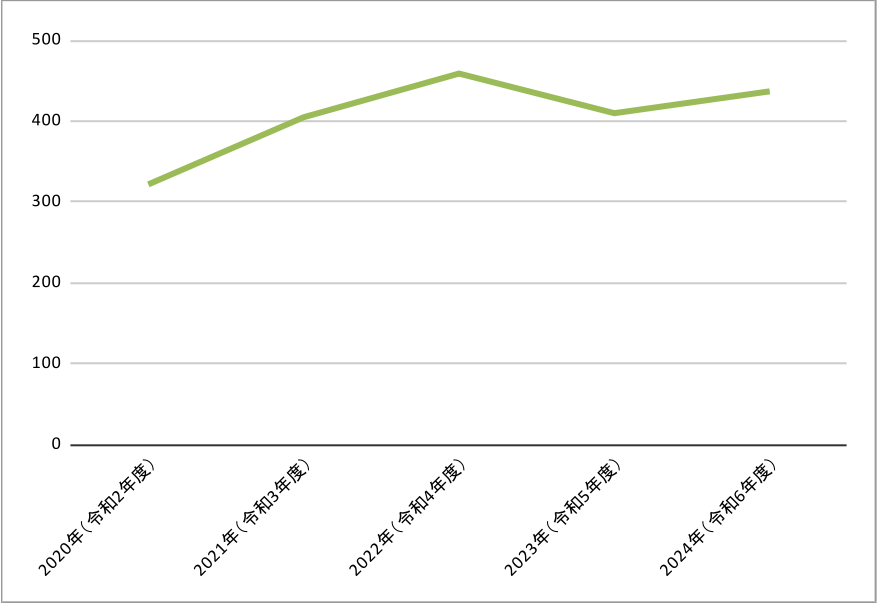
(専門学校 日本デザイナー芸術学院:190名 専門学校 日本マンガ芸術学院:132名)

敬道学園・在籍者数		合計
専門学校日本デザイナー芸術学院	270	437
専門学校日本マンガ芸術学院	167	



敬道学園 学生数推移(2019年～2023年)

敬道学園・学生数推移(2020～2024)	
2020年(令和2年度)	322
2021年(令和3年度)	405
2022年(令和4年度)	459
2023年(令和5年度)	410
2024年(令和6年度)	437



2. 就職実績に関して

当学院では、業界への就職やデビューを実現させるためのプログラムとして「キャリアデザイン」による就職対策、「デビュー支援プロジェクト」を要とした業界へのアプローチを1年次から実施している。

定期的な学生支援の継続で学生の意識向上や積極的な業界へのアプローチを可能とし近年では、業界では難関と言われる企業への就職や在学中からの作家デビューなど実績を重ね、卒業後のキャリア支援も含めた好調な進路決定率を維持している。

2024年度3月卒業生の就職実績（進路決定率）としては、日本デザイナー芸術学院として81.0% 日本マンガ芸術学院として96.0%の実績となる。※1

2024年度は、例年と比較しても順調に推移していたが、コースによって偏りが出たこともあり日本デザイナー芸術学院の就職実績が前年を下回ってしまった。数年前から定番化したりリモートでの企業説明会やWeb面接での対応力を高める学生指導と合わせ、オープンチャットを活用したりリアルタイムでの求人情報の配信、「就職対策授業」の強化と進路相談、面接対策等の個別対応を積極的に実施した。

時代に合わせたキャリア支援の必要性和従来の指導（エントリーシート・履歴書ポートフォリオ）を継続的に行い、次年度以降も学生たちが望む多種多様な進路決定を実現するために学生サポートを継続していく。

※1（専門学校日本マンガ芸術学院は、各コースの特性上、漫画家アシスタント、養成所進学等も数値に含む）

3. 進級率・退学者について

当学院では、進級率の向上、退学者の減少の為に施策としてカウンセリングシートを活用した退学要因の把握と個人面談の複数回実施による学校生活のサポートを重点項目として取り入れている。

経済的問題での退学者が多い状況の中で、学習意欲の減退や人間関係でのつまづきが最小限にとどまるよう、個々の学生とのコミュニケーションを緊密にとり、生活面及び学習環境の改善に努めている。

近年の傾向としては、精神的な問題で休学や退学に至るケースが増えており家庭との連携が必要な事案も増加傾向にある。

2024年度の進級率としては、学園全体で87.0%である。

今後も学生満足度の向上をさらに高め、進級率の向上、退学者の減少を実現するよう設置コースにおいて一人ひとりに対応するきめの細かい指導を徹底していく。

4. 2024年度の取り組み

2024年度に関しては、留学生対象の新コース（日本語＆ビジネス）を開設し、敬道学園のもつコンテンツの強みを活かしたカリキュラムで運営を実施した。

今後も漫画やアニメ等、留学生が好む日本の文化をテキストに使用し、楽しく日本語を修得できるような授業を展開し、次年度も学生満足度の充実をはかっていきたい。

Ⅲ. 財務の概要及び決算報告

【貸借対照表】

資産の部

(単位:円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
(固定資産)	1,380,866,333	1,408,268,452	△ 27,402,119
【有形固定資産】	1,379,633,591	1,406,199,710	△ 26,566,119
【その他の固定資産】	1,232,742	2,068,742	△ 836,000
(流動資産)	704,359,233	635,614,771	68,744,462
〔資産の部合計〕	2,085,225,566	2,043,883,223	41,342,343

負債・純資産の部

(単位:円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部	547,362,273	543,177,098	4,185,175
(固定負債)	134,222,400	160,442,800	△ 26,220,400
(流動負債)	413,139,873	382,734,298	30,405,575
純資産の部	1,537,863,293	1,500,706,125	37,257,168
基本金	2,342,194,566	2,340,994,566	1,200,000
繰越収支差額	△ 804,331,273	△ 840,288,441	35,957,168
〔負債及び純資産の部合計〕	2,085,225,566	2,043,883,223	41,342,343

【資金収支計算書】

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 異
【学生生徒等納付金収入】	390,276,500	390,980,100	△ 703,600
【手数料収入】	5,780,000	6,562,600	△ 782,600
【補助金収入】	34,000,000	34,953,104	△ 953,104
【資産売却収入】	0	0	0
【事業収入】	37,000,000	37,510,000	△ 510,000
【受取利息・配当金収入】	4,000	4,863	△ 863
【雑収入】	2,254,000	2,272,901	△ 18,901
【借入金等収入】	0	0	0
【前受金収入】	262,000,000	264,404,930	△ 2,404,930
【その他の収入】	103,600,000	106,720,110	△ 3,120,110
【資金収入調整勘定】	△ 249,281,550	△ 249,337,750	56,200
〔前年度繰越支払資金〕	403,118,960	631,527,216	-
〔収入の部合計〕	988,751,910	1,225,598,074	△ 236,846,164

支出の部

(単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 異
【人件費支出】	158,000,000	156,796,538	1,203,462
【教育研究経費支出】	91,610,000	89,687,565	1,922,435
【管理経費支出】	158,600,000	157,076,428	1,523,572
【借入金等利息支出】	700,000	624,150	75,850
【借入金等返済支出】	28,560,000	28,560,000	0
【施設関係支出】	1,300,000	1,200,000	100,000
【設備関係支出】	0	0	0
【その他の支出】	135,130,469	133,385,726	1,744,743
【資金支出調整勘定】	△ 41,578,107	△ 41,136,098	△ 442,009
〔翌年度繰越支払資金〕	690,000,000	699,403,765	△ 9,403,765
〔支出の部合計〕	1,222,322,362	1,225,598,074	△ 3,275,712

【事業活動収支計算書】

(単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 異
【学生生徒等納付金】	390,276,500	390,980,100	△ 703,600
【手数料】	5,780,000	6,562,600	△ 782,600
【経常費等補助金】	34,000,000	34,953,104	△ 953,104
【事業収入】	37,000,000	37,510,000	△ 510,000
【雑収入】	2,254,000	2,272,901	△ 18,901
〔教育活動収入計〕	469,310,500	472,278,705	△ 2,968,205
【人件費】	160,400,000	159,136,138	1,263,862
【教育研究経費】	118,110,000	115,689,491	2,420,509
【管理経費】	161,300,000	159,676,621	1,623,379
〔教育活動支出計〕	439,810,000	434,502,250	5,307,750
教育活動収支差額	29,500,500	37,776,455	△ 8,275,955
【受取利息・配当金】	4,000	4,863	△ 863
〔教育活動外収入計〕	4,000	4,863	△ 863
【借入金等利息】	700,000	624,150	75,850
〔教育活動外支出計〕	700,000	624,150	75,850
教育活動外収支差額	△ 696,000	△ 619,287	△ 76,713
〔経常収支差額〕	28,804,500	37,157,168	△ 8,352,668
【資産売却差額】	0	0	0
〔特別収入計〕	0	0	0
【資産処分差額】	0	0	0
〔特別支出計〕	0	0	0
特別収支差額	0	0	0
〔基本金組入前当年度収支差額〕	28,804,500	37,157,168	△ 8,352,668
(基本金組入額合計)	△ 1,500,000	△ 1,200,000	△ 300,000
〔当年度収支差額〕	27,304,500	35,957,168	△ 8,652,668
前年度繰越収支差額	△ 840,288,441	△ 840,288,441	0
〔翌年度繰越収支差額〕	△ 812,983,941	△ 804,331,273	△ 8,652,668
(参考)			
事業活動収入計	469,314,500	472,283,568	△ 2,969,068
事業活動支出計	440,510,000	435,126,400	5,383,600